

安全最優先の  
風土確立を!



# 全国運転士連絡会

vol. 90

日本貨物鉄道産業労働組合  
東京都葛飾区東新小岩2-5-1

発行責任者:大杉正美  
編集責任者:川口将二



第9回定期総会  
貨物鉄産労全国運転士連絡会

貨物鉄産労全国運転士連絡会は、12月2日、東京都・本部事務所において第9回定期総会を開催しました。2002年12月に結成した運転士連絡会は、過去7回開催した職場交流会をはじめ、「安全で働きやすい乗務環境の確立」を主題に、重大事故撲滅などの安全問題や、職場環境向上などに鋭意取り組んできましたが、結成16年を経過した今回、改めて「安全確立」や「運転職場の貨物民主化達成」をメインテーマに、活発な議論を重ねて行きました。

## 「安全」「組織」を両輪に 運動強化を再確認!

議長には九州・門司機関区の田代清人氏を選出、的確な議事進行を行っていただきました。

議長には九州・門司機関区の田代清人氏を選出、的確な議事進行を行っていただきました。続いてあいさつに立った川口会長は、「全国運転士連絡会は、『安全最優先確立』と『運転職場の民主化』を主命題に、結成16年と職場交流会も7回開催し、各職場の問題点を共通の課題として取り組んできた」「現在貨物会社では、来年度実施を目標に『新人事賃金制度』の提案を行った。私たちは手当を中心に労働条件が切り込まれることの無いよう、また、安全確立のための経費抑制が無いようしっかりと監視するとともに、現場の問題点を一番知る立場にある私たちが、しっかりと問題提起し、一つ一つ解決していくことが重要である」「東海静岡にて運転士の仲間が加わってくれた。歓迎するとともに、民主化運動を強化していきたい。民主化にはまず仲間を増やすことが第一だ。そのためには、われわれ運転士連絡会も積極的に行動し、その一翼を担うことで『運転職場の民主化』の目標達成に寄与しなければならぬ。そのため、JR連合、貨物鉄産労の各級機関と綿密に連携を取りながら、しっかりと取り組んでいく」などと述べられました。

## 第9回定期総会 開催される!



主催者あいさつをする  
川口運転士連絡会会長



来賓の  
森泉関東地本委員長

その後、奥田事務局長、矢吹、渡辺両事務局長から経過、2017年度決算、2018年度運動方針案、同予算案が提示され、幹事会開催のため、いったん休憩を取った後、質疑を行いました。参加の地方代表から、情勢報告や問題点提起など、活発な意見・提言を行っていただきました。

出された主な意見としては、

- ・ 職場の情勢報告
- ・ 職場の情報交換 (年休取得、職場報奨の一部の者への偏り)
- ・ 要因需給の改善促進
- ・ 出向先の年休取得問題
- ・ 無線機通話テスト呼び出し方法について
- ・ 男女雇用機会均等に関して、今後女性運転士採用の見直し、また環境改善促進要望
- ・ など、真摯で活発な意見が出されました。出された意見を参考に運転士要求をまとめたいと考えています。



集約答弁の後、幹事会改選を行い、別掲の体制となりました。集会アピール採択の後、川口会長による、「団結カンパニー」で閉会しました。後は、新小岩駅前の居酒屋に場所を移し、参加者で懇親を深めていきました。今回の定期総会に参加された皆様、また多忙な中駆けつけていただいた来賓の方々、大変ありがとうございました。これからも、活動を強化していきます。

### 〔新幹事会体制〕

- 会長 川口 将二 (東海・稲沢機区)
- 副会長 三輪 俊晴 (関西・広島機区)
- 事務局長 奥田 武志 (東海・稲沢機区)
- 事務局次長 矢吹 貴寛 (東海・稲沢機区)
- 常任幹事 渡辺 和之 (九州・門司機区)
- 足利 博文 (東北・秋田総区)
- 富田 威明 (東海・静岡総区)
- 青島 将彦 (東海・静岡総区)
- 竹内 康夫 (関東・大井機区)
- 加藤 覚 (東海・稲沢機区)
- 会計監査員